

SDカード・デジタルカメラ・デジタルビデオカメラ特集によせて



パナソニック（株）

副社長 坂本 俊弘

当社では、「SD DVD DTV」^(注1)の商品軸3Dと、「HD UD Device」^(注2)の要素軸3Dを掛け合わせて、お客様へのシナジー価値を創出する「3D²（スリーディースクエア）バリューチェーン」戦略を展開しています。具体的には、薄型テレビのピエラを、さまざまなAV機器・セキュリティ機器・電化機器やインターネットにつなげて、テレビのリモコン1つで簡単に操作できるハイビジョン商品群作りを推進しています。一昔前のようにテレビの前に家族が全員集合して、昨今失われがちな家族の絆を取り戻していただく「Digital Hearth（デジタル囲炉裏）」の実現が事業ビジョンです。SDカードとSDカード関連商品は、この一連の戦略推進になくてはならない重要な商品です。

SDカードは、音楽・映像・写真・情報など、さまざまなジャンルの大容量デジタルコンテンツを記録する次世代半導体メモリーカードを目指して、松下電器産業（株）（現パナソニック（株））、SanDisk社、（株）東芝の三社が1999年に規格開発し、2000年に商品化しました。以来、さまざまな業種・業界の1000社に及ぶハードウェア企業とソフトウェア企業から賛同を得て、2008年度には他の半導体メモリーカードを圧倒する2.5億枚^(注3)もの出荷を達成するなど、デファクト・メモリーカードとしての不動の地位を確立しました。SDカードは、切手並みサイズなのに記録容量は最大32 GB^(注4)と非常に大きく、高度な著作権保護技術に守られたハイビジョン動画の長時間記録対応や高速転送対応が可能のため、AV機器の中核的記録メディアになりました。今後も、「3D²バリューチェーン」戦略を支える重要なブリッジメディアとして、さらなる大容量化・高速化を目指していきます。

デジタルカメラは、1993年に半導体メモリーカードを記録メディアとする商品が市場導入されて以来、急速に普及が進みました。当社は2001年に独・ライカ社とレンズの共同開発をスタートさせるとともに、サブブランドLumixTMで市場再参入を果たしました。2003年には世界で初めて^(注5)コンパクトカメラに光学式手ブレ補正を搭載し、2004年には同機能搭載の超コンパクトモデルDMC-FX7が大ヒットしました。2005年には世界初の^(注6)

16:9ワイドCCD（Charge Coupled Device）広角レンズ搭載カメラを発売し、2007年にはシーンごとに最適な撮影設定ができる「おまかせiA」機能を世界で初めて^(注7)実用化しました。2008年にはオリンパス社と共同開発した「マイクロフォーサーズシステム」規格で、世界最小・最軽量の^(注8)デジタル一眼カメラDMC-G1を商品化しました。SDカードのデファクト化と連動する形で急成長を遂げてきた当社のデジタルカメラですが、今後とも、究極の先端カメラ技術と高画質を目指して、日に新たに電機メーカーならではの挑戦を続けていきます。

ビデオカメラは、1995年のDVC（Digital Video Cassette）方式による規格統一後はテープの時代が長く続きましたが、2003年以降は、8 cm DVD、ハードディスク、半導体メモリーカードなどの新しい記録メディアが提案され、急速なメディアチェンジが進行しています。世界的なハイビジョン放送の充実・拡大と薄型テレビの大画面化に呼応して、ビデオカメラのデジタル化とハイビジョン化が加速し、日本国内では2007年度出荷台数の半分がハイビジョン対応モデルになりました。当社は、軽量・省電力・メカレスが強みのSDカードムービーを基軸に、3MOS（3 Metal Oxide Semiconductor）センサ・次世代光学式手ブレ補正・ユニフィエLSIなどの独自技術を尖らせた商品展開を推進していきます。

テレビの大画面化・ネットワーク化およびカメラ商品群の高画質化が進行する中で、撮影した映像を簡単にテレビで再生できるSDカードには、ブリッジメディアとしての素晴らしい利便性があります。さらなる大容量化・高速化を重要な開発テーマとして推進していきます。

今回の特集では、「デジタルハイビジョンムービーの高画質化技術」「高画質コンテンツの記録・再生を可能にした高速・大容量SDHCメモリーカードシリーズ」「静止画ネットワークと無線LAN搭載カメラのWebアルバム接続技術」などの当社研究開発成果をご紹介させていただきました。SDカードとSDカード関連商品が広げるリンク機能の楽しさをご理解いただけたら幸いです。

(注1) SD(SDカード, SD関連商品) DTV(デジタルテレビ) DVD,

(注2) HD(ハイビジョン) UD(ユニバーサルデザイン) Device(キーデバイス), (注3) 当社調べ,

(注4) 規格拡張されたSDHCカード(2008年10月時点), (注5) 2003年10月22日発表, (注6) 2005年7月21日発表,

(注7) 2007年7月24日現在, (注8) 2009年2月6日現在, 可動式液晶搭載レンズ交換式デジタルカメラのボディとして